



研修先では、初めてのことだらけ。

カウナスでは、同じ年頃のお子さんをもう家庭でホームステイしました。リトニアのお父さん・お母さんにまるで我が子に接するように、温かく迎えていただき、4日間安心して過ごすことができたようです。

また、ホロコーストについても多くのことを学びました。「アウシュビッツ収容所や第九要塞、シンドラーの工場などを見学し、実際に行ってみないと感じ取れないことがたくさんありました。心がぎゅつと苦しくなるようなものもありました。この経験を今後の人道学習や活動につなげていきたい。学んだことを周りの人に伝えていきたい。」と話してくれた子もいました。

現地ではどこへ行っても、誰に会っても、「日本の中学生はすばらしい。」とほめていただきました。それは、一人一人が八百津の代表、日本の代表として、頑張ってきたからでしょう。とても誇らしいです。この研修を通して、参加した中学生たちは見て、聞いて、感じて、考えて、多くのことを学んできました。これからどんな輝きを見せてくれるか楽しみです。

ここで、海外派遣研修をきっかけに進路を決めた先輩を紹介します。八百津中学校出身の森本萌加さんは、現在オーストラリアに留学しています。森本さんに話を聞きました。

「私が、外国語に興味を持ったのは、中学3年生のときに、中学生海外派遣研修でアメリカを訪れたことがきっかけでした。初めての海外で緊張とワクワクが入り混じっていたことを今でも覚えています。そして、目で見るもの、感じるもの、匂い、すべてがとても新鮮で、特に、海外で働く日本人の方を間近で見て、私もいつか、こんな風に仕事がしたいと思うようになりました。」

オーストラリアでは語学学校に3ヶ月通い、色々な国の友だちができました。他の国の文化を知ることができて、とても楽しいです。

放課後は日本食レストランで働いていますが、現地のお客さんが日本に興味を持って来てくれるのをとても誇らしく思います。日本のことを知ってもらおう喜びを感じているので、もっともっと英語を勉強して、日本のことを他の国の人に伝えていきたいと思っています。」

八百津の子が頑張る姿に、元気がもらえますね。

研修参加者の感想は、広報やおつ10月号に掲載予定です。どのように感じ、学んできたのか、ぜひご覧ください。お楽しみに！



手前から2番目が森本さん。色々な国からきた友だちと一緒に。きらきらしたすてきな笑顔！